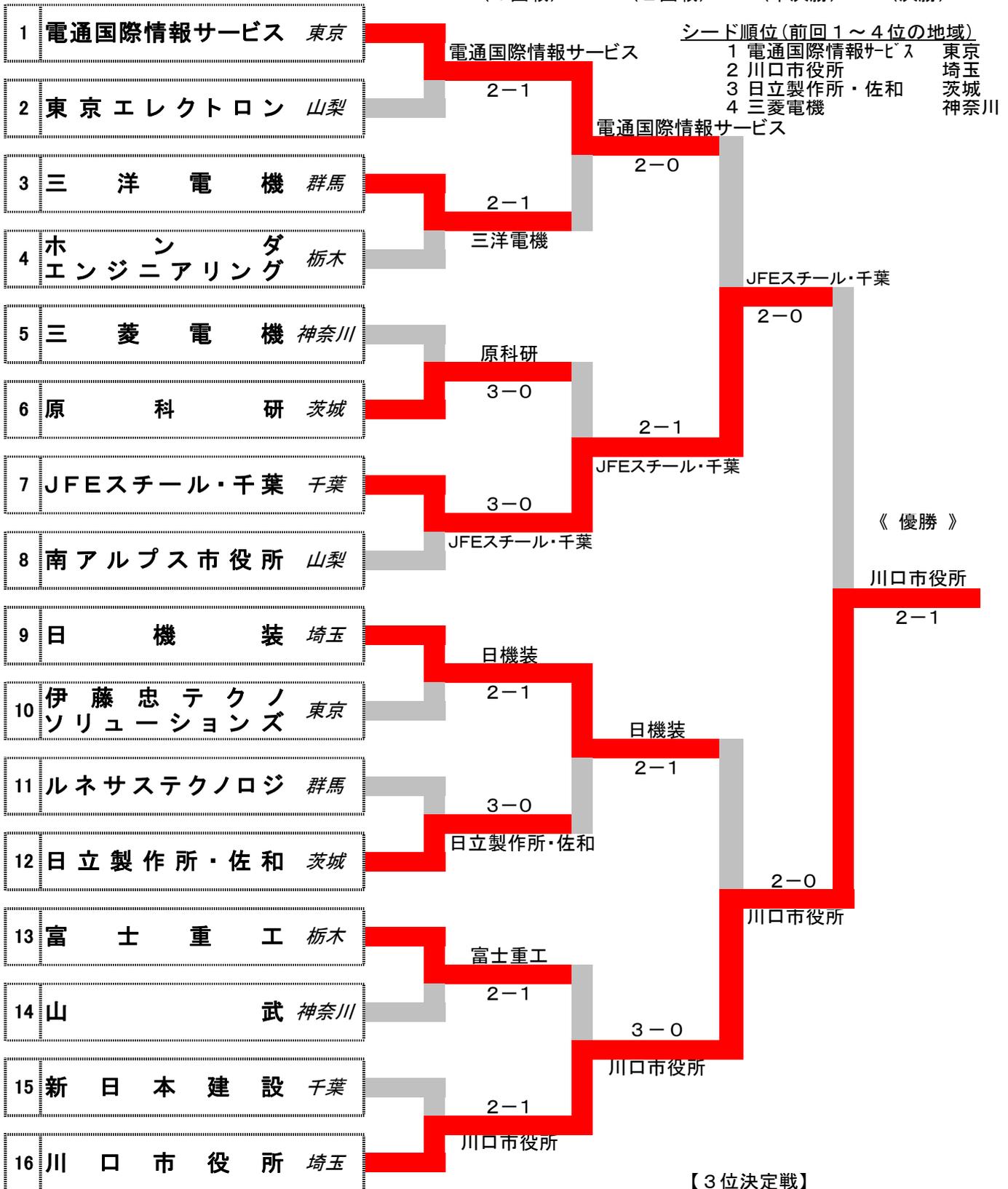


第46回関東実業団対抗テニストーナメント記録
(ビジネスパル・テニス関東大会)

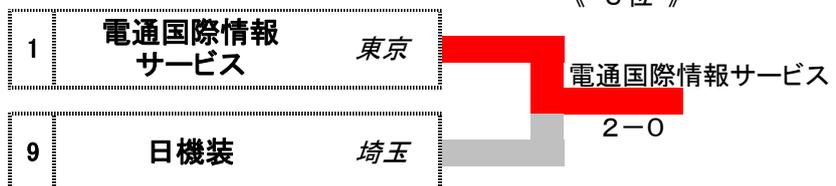
2007-7-14, 15
群馬県総合スポーツセンター

【 男子 】

(1回戦) (2回戦) (準決勝) (決勝)



注) 台風のため、全試合1セットマッチ、
(ノーアドバンテージ)に短縮した



男子【1回戦】

1.電通国際情報サービス	○ 2-1	2.東京エレクトロン	3.三洋電機	○ 2-1	4.ホンダエンジニアリング
--------------	-------	------------	--------	-------	---------------

D2	横山恵一郎 石井哲哉	○ 6-2	大倉成幸 小田尚史	D2	茂木 弘 間々田隆男	○ 7-6 <4>	木内義之 肥後正弓
D1	和田祐一 岡田悠作	○ 6-1	藤原千秋 山田賢二	D1	清村啓一 宮嶋健一	0-6 ○	吾郷真司 後藤勝敏
S	石井英隆	1-6 ○	戸木教夫	S	市川紀博	○ 7-5	山本竜彦

5.三菱電機	0-3 ○	6.原科研	7.JFEスチール千葉	○ 3-0	8.南アルプス市役所
--------	-------	-------	-------------	-------	------------

D2	遠藤 淳 吉田栄稔	3-6 ○	大貫敏彦 蛭田敏仁	D2	佐藤武男 斉藤 篤	○ 6-0	中込達也 宮川聡史
D1	松本良央 吉橋 陽	4-6 ○	菊地正彦 加治芳行	D1	寺島知道 寺澤健太郎	○ 6-4	若尾貴洋 笹本朝裕
S	松岡信幸	3-6 ○	佐藤達彦	S	近藤孝司	○ 6-2	塚原良仁

9.日機装	○ 2-1	10.伊藤忠テクノソリューションズ*	11.ルネサステクノロジ	0-3 ○	12.日立製作所・佐和
-------	-------	--------------------	--------------	-------	-------------

D2	秋山尚史 芹田勇成	○ 6-2	岩本 誠 船本俊隆	D2	石井広美 佐藤 浩	1-6 ○	原田健一 穂山秀延
D1	小嶋大吾 金子真之	4-6 ○	小田博晶 瀬戸口啓介	D1	山田精一 三田和美	2-6 ○	中野祐二 大杉幹雄
S	村岡勝幸	○ 6-3	佐々木洋二	S	藤井裕二	0-6 ○	戸祭康弘

13.富士重工	○ 2-1	14.山武	15.新日本建設	1-2 ○	16.川口市役所
---------	-------	-------	----------	-------	----------

D2	上野勝久 荒井貴雄	0-6 ○	水上 正 山口友哉	D2	長野重雄 広田定貢	○ 7-6 <4>	堀江能徳 鈴木琢也
D1	阿部能文 大久保優介	○ 6-1	内田佳克 鈴木 伸	D1	木津 進 野畑祐一	2-6 ○	輿石龍児 浅井正之
S	金光寛明	○ 7-6 <9>	加藤元啓	S	結城 学	2-6 ○	春原健一

男子【2回戦】

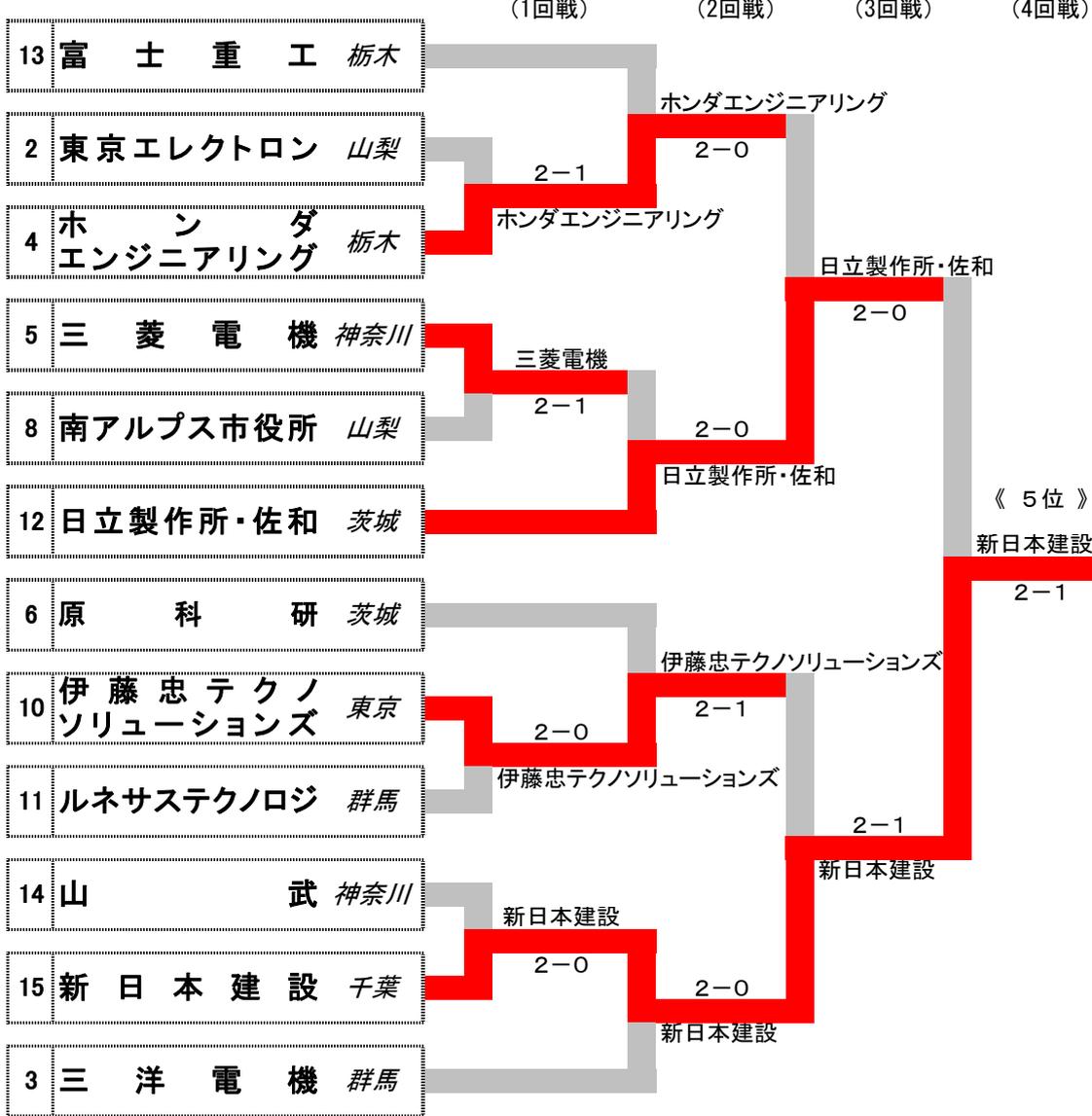
1.電通国際情報サービス	○ 2-0	3.三洋電機	6.原科研	1-2 ○	7.JFEスチール千葉
--------------	-------	--------	-------	-------	-------------

D2	横山恵一郎 石井哲哉	○ 6-3	茂木 弘 間々田隆男	D2	大貫敏彦 蛭田敏仁	4-6 ○	寺澤健太郎 寺島知道
D1	和田祐一 岡田悠作	○ 6-3	宮嶋健一 清村啓一	D1	菊地正彦 加治芳行	○ 6-2	佐藤武男 斉藤 篤
S	石井英隆	打切り	市川紀博	S	佐藤達彦	2-6 ○	近藤孝司

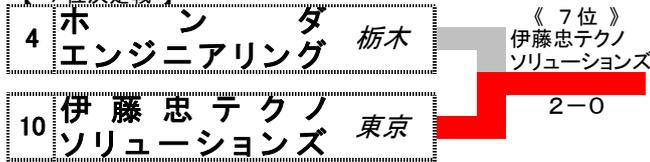
9.日機装	○ 2-1	12.日立製作所・佐和	13.富士重工	0-3 ○	16.川口市役所
-------	-------	-------------	---------	-------	----------

D2	秋山尚史 芹田勇成	○ 6-3	原田健一 戸祭康弘	D2	阿部能文 大久保優介	4-6 ○	堀江能徳 鈴木琢也
D1	中村行男 小嶋大吾	4-6 ○	中野祐二 大杉幹雄	D1	金光寛明 大竹正則	3-6 ○	輿石龍児 浅井正之
S	村岡勝幸	○ 6-2	穂山秀延	S	八木橋智史	1-6 ○	春原健一

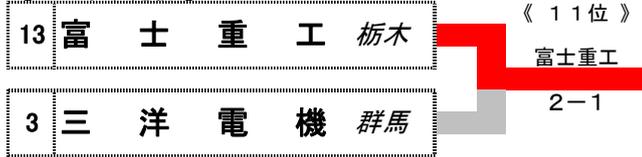
【 男子 フィードインコンソレーション 】



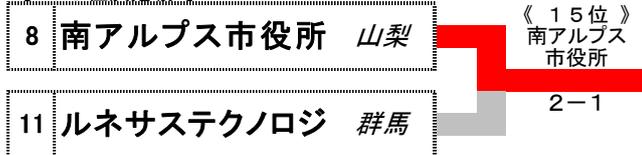
【 7位決定戦 】



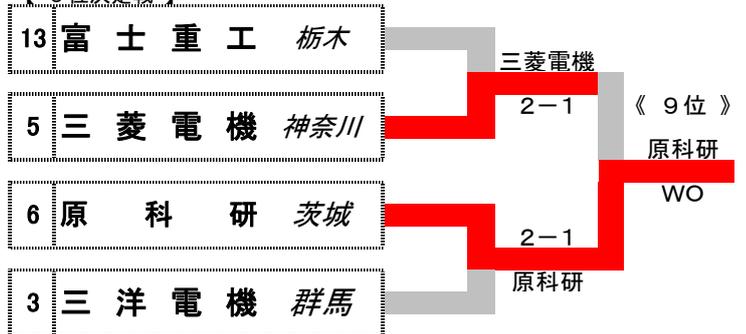
【 11位決定戦 】



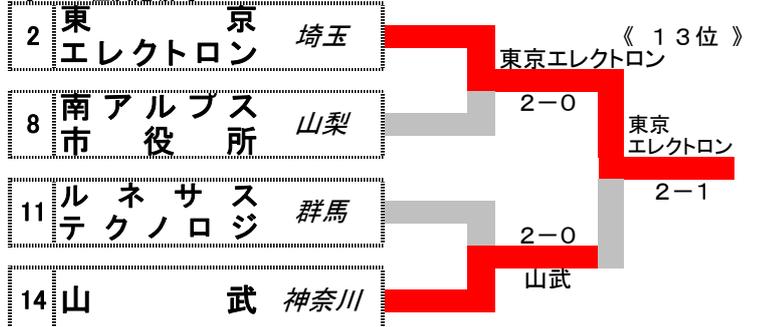
【 15位決定戦 】



【 9位決定戦 】



【 13位決定戦 】



男子【フィードインコンソレーション 1回戦】

a	2.東京エレクトロン	1-2 ○	4.ホンダエンジニアリング	b	5.三菱電機	○ 2-1	8.南アルプス市役所
D2	大倉成幸 山田賢二	○ 6-2	木内義之 肥後正弓	D2	吉田栄稔 市原利浩	4-6 ○	中込達也 宮川聡史
D1	戸木教夫 藤原千秋	2-6 ○	吾郷真司 後藤勝敏	D1	松本良央 吉橋 陽	○ 6-3	若尾貴洋 笹本朝裕
S	小田尚史	6-7 ○ <4>	山本竜彦	S	松岡信幸	○ 6-2	塚原良仁

c	10.伊藤忠テクノソリューションズ	○ 2-0	11.ルネサステクノロジ	d	14.山武	0-2 ○	15.新日本建設
D2	小田博晶 瀬戸口啓介	○ 6-1	石井広美 武藤邦治	D2	水上 正 山口友哉	1-6 ○	結城 学 広田定貢
D1	岩本 誠 船本俊隆	○ 6-3	山田精一 佐藤 浩	D1	福山 隆 干村暢孝	6-5 打切り	長野重雄 木津 進
S	佐々木洋二	打切り	三田和美	S	加藤元啓	3-6 ○	野畑祐一

男子【フィードインコンソレーション 2回戦】

e	13.富士重工	0-2 ○	4.ホンダエンジニアリング	f	5.三菱電機	0-2 ○	12.日立製作所・佐和
D2	八木橋智史 大久保優介	2-6 ○	木内義之 中村 健	D2	松本良央 吉橋 陽	3-6 ○	原田健一 穂山秀延
D1	阿部能文 大竹正則	0-6 ○	吾郷真司 後藤勝敏	D1	吉田栄稔 遠藤 淳	6-7 ○ <5>	中野祐二 大杉幹雄
S	金光寛明	打切り	肥後正弓	S	松岡信幸	打切り	戸祭康弘

g	6.原科研	1-2 ○	10.伊藤忠テクノソリューションズ	h	15.新日本建設	○ 2-0	3.三洋電機
D2	大貫敏彦 蛭田敏仁	3-6 ○	小田博晶 瀬戸口啓介	D2	結城 学 広田定貢	○ 6-1	茂木 弘 間々田隆男
D1	菊地正彦 加治芳行	○ 6-4	岩本 誠 船本俊隆	D1	長野重雄 木津 進	○ 6-2	清村啓一 宮嶋健一
S	佐藤達彦	2-6 ○	佐々木洋二	S	野畑祐一	打切り	市川紀博

男子【フィードインコンソレーション 3回戦】

	4.ホンダエンジニアリング	0-2 ○	12.日立製作所・佐和		10.伊藤忠テクノソリューションズ	1-2 ○	15.新日本建設
D2	木内義之 中村 健	0-6	原田健一 穂山秀延	D2	小田博晶 瀬戸口啓介	4-6 ○	結城 学 広田定貢
D1	吾郷真司 後藤勝敏	5-3 打切り	中野祐二 大杉幹雄	D1	岩本 誠 船本俊隆	○ 7-5	木津 進 長野重雄
S	肥後正弓	3-6	戸祭康弘	S	佐々木洋二	4-6 ○	野畑祐一

男子【フィードインコンソレーション 13~16位決定戦】

m	2.東京エレクトロン	○ 2-0	8.南アルプス市役所	n	11.ルネサステクノロジ	0-2 ○	14.山武
D2	山田賢二 田中諭志	○ 6-4	中込達也 宮川聡史	D2	山田精一 石井広美	2-6 ○	山口友哉 福山 隆
D1	戸木教夫 藤原千秋	○ 6-2	笹本朝裕 塚原良仁	D1	三田和美 佐藤 浩	6-7 ○ <5>	加藤元啓 干村暢孝
S	大倉成幸	打切り	若尾貴洋	S	藤井裕二	打切り	八尾建史

男子【準決勝】

	1.電通国際情報サービス	0-2 ○	7.JFEスチール千葉
D2	横山恵一郎 石井哲哉	2-6 ○	寺澤健太郎 寺島知道
D1	和田祐一 岡田悠作	4-3 打切り	長島 智 佐藤武男
S	石井英隆	2-6 ○	近藤孝司

	9.日機装	0-2 ○	16.川口市役所
D2	村岡勝幸 金子真之	2-6 ○	奥石龍児 浅井正之
D1	中村行男 秋山尚史	2-6 ○	堀江能徳 鈴木琢也
S	小嶋大吾	打切り	春原健一

男子【決勝】

	7.JFEスチール千葉	1-2 ○	16.川口市役所
D2	寺澤健太郎 佐藤武男	2-6 ○	奥石龍児 浅井正之
D1	長島 智 斉藤 篤	○ 7-6 <2>	堀江能徳 鈴木琢也
S	近藤孝司	1-6 ○	春原健一

男子【3位決定戦】

	1.電通国際情報サービス	○ 2-0	9.日機装
D2	石井哲哉 横山恵一郎	○ 6-4	秋山尚史 金子真之
D1	和田祐一 岡田悠作	○ 6-4	中村行男 村岡勝幸
S	石井英隆	打切り	小嶋大吾

男子【5位決定戦】

	12.日立製作所・佐和	1-2 ○	15.新日本建設
D2	原田健一 穂山秀延	0-6 ○	結城 学 広田定貢
D1	大杉幹雄 中野祐二	○ 6-4	木津 進 長野重雄
S	戸祭康弘	1-6 ○	野畑祐一

男子【7位決定戦】

	4.ホンダエンジニアリング	0-2 ○	10.伊藤忠テクノソリューションズ
D2	山本竜彦 中野英治	4-6 ○	小田博晶 瀬戸口啓介
D1	岡田誠司 中野淳一	3-6 ○	岩本 誠 船本俊隆
S	後藤勝敏	0-2 打切り	佐々木洋二

男子【フィードインコンソレーション 9~12位決定戦】

k	13.富士重工	1-2 ○	5.三菱電機
D2	阿部能文 大久保優介	○ 6-3	水上雄介 市原利浩
D1	上野勝久 荒井貴雄	3-6 ○	吉田栄稔 吉橋 陽
S	金光寛明	1-6 ○	松本良央

l	6.原科研	○ 2-1	3.三洋電機
D2	大貫敏彦 蛭田敏仁	○ 6-2	茂木 弘 間々田隆男
D1	菊地正彦 大場敏充	○ 6-3	清村啓一 宮嶋健一
S	佐藤達彦	3-6 ○	市川紀博

男子【9位決定戦】

	5.三菱電機	WO ○	6.原科研
D2			佐藤達彦 大場敏充
D1			加治芳行 蛭田敏仁
S			大貫敏彦

男子【11位決定戦】

	13.富士重工	○ 2-1	3.三洋電機
D2	上野勝久 荒井貴雄	3-6 ○	茂木 弘 間々田隆男
D1	阿部能文 大久保優介	○ 6-3	清村啓一 宮嶋健一
S	金光寛明	○ 6-2	市川紀博

男子【13位決定戦】

	2.東京エレクトロン	○ 2-1	14.山武
D2	小田尚史 田中諭志	2-6 ○	山口友哉 鈴木 伸
D1	山田賢二 大倉成幸	○ 7-6 <8>	加藤元啓 内田佳克
S	戸木教夫	○ 6-1	八尾建央

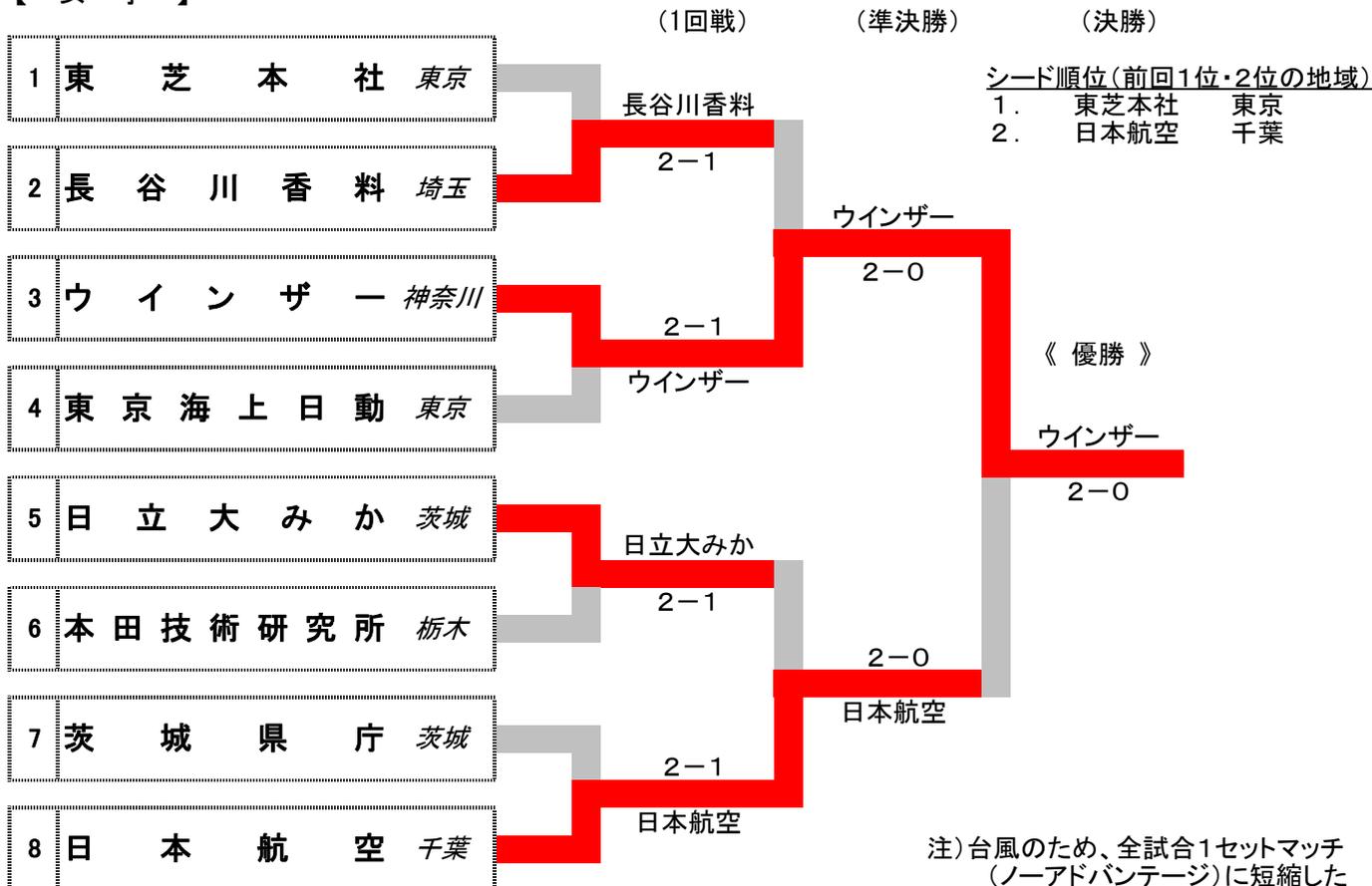
男子【15位決定戦】

	8.南アルプス市役所	○ 2-1	11.ルネサステクノロジ
D2	中込達也 宮川聡史	○ 6-4	佐藤 浩 石井広美
D1	笹本朝裕 佐野秀仁	4-6 ○	山田精一 三田和美
S	若尾貴洋	○ 6-0	藤井裕二

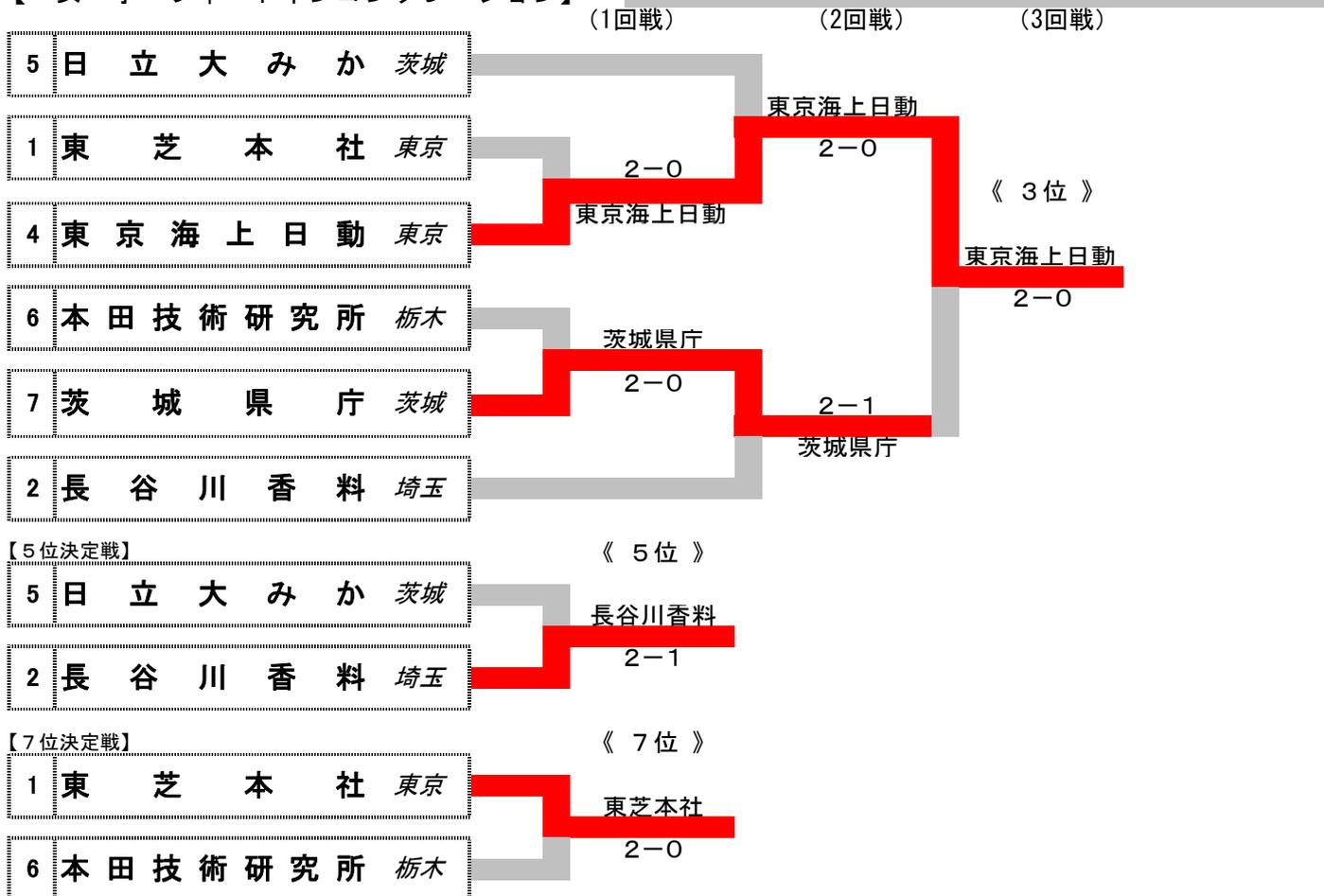
第46回関東実業団対抗テニストーナメント記録
(ビジネスパル・テニス関東大会)

2007-7-14, 15
群馬県総合スポーツセンター

【女子】



【女子 フィードインコンソレーション】



第46回関東実業団対抗テニストーナメント(ビジネスパル・テニス関東大会)・記録

<第1日>

女子【1回戦】

	1.東芝本社	1-2 ○	2.長谷川香料		3.ウインザー	○ 2-1	4.東京海上日動
D2	石坂由里 的場佳波	1-6 ○	内藤直子 荻野妙子	D2	横浜利映 込谷友佳	○ 6-1	細井麻代子 外山紀子
D1	林 あゆみ 伊藤由美	2-6 ○	芥川順子 佐藤 恵	D1	矢吹求美 能 可南子	○ 6-4	今城麻奈美 望月直美
S	犬飼美成子	○ 7-5	橋本裕美	S	岩崎美和子	0-6 ○	寺井巳恵

	5.日立大みか	○ 2-1	6.本田技術研究所		7.茨城県庁	1-2 ○	8.日本航空
D2	谷口英子 梨田典子	○ 6-1	林 里恵 小野崎友子	D2	渡部麻美 朝比奈政子	○ 6-3	綿野麗子 岡崎 愛
D1	根本由紀子 佐々木久美子	○ 6-1	坂上歌子 古郡麻由	D1	穂山孝子 高松みよ子	0-6 ○	泉谷美樹 金児洋子
S	石崎淳子	2-6 ○	神原真紀	S	宮原真利	0-6 ○	内藤 歩

女子【準決勝】

	2.長谷川香料	0-2 ○	3.ウインザー		5.日立大みか	0-2 ○	8.日本航空
D2	内藤直子 荻野妙子	1-6 ○	横浜利映 込谷友佳	D2	谷口英子 梨田典子	0-6 ○	中野淳子 逢坂理恵
D1	芥川順子 佐藤 恵	1-6 ○	矢吹求美 能 可南子	D1	根本由紀子 佐々木久美子	2-6 ○	泉谷美樹 綿野麗子
S	橋本裕美	打切り	岩崎美和子	S	石崎淳子	打切り	内藤 歩

女子【フィードインコンソレーション 1回戦】

a	1.東芝本社	0-2 ○	4.東京海上日動	b	6.本田技術研究所	0-2 ○	7.茨城県庁
D2	石坂由里 的場佳波	2-6 ○	望月直美 寺井巳恵	D2	林 里恵 静 洋子	0-6 ○	穂山孝子 高松みよ子
D1	林 あゆみ 伊藤由美	2-6 ○	細井麻代子 今城麻奈美	D1	神原真紀 小野崎友子	0-6 ○	新山絹子 朝比奈政子
S	犬飼美成子	打切り	外山紀子	S	坂上歌子	打切り	渡部麻美

女子【フィードインコンソレーション 2回戦】

c	5.日立大みか	0-2 ○	4.東京海上日動	d	7.茨城県庁	○ 2-1	2.長谷川香料
D2	谷口英子 石崎淳子	1-6 ○	寺井巳恵 望月直美	D2	穂山孝子 高松みよ子	○ 6-4	内藤直子 荻野妙子
D1	佐々木久美子 根本由紀子	6-7 ○ <5>	細井麻代子 今城麻奈美	D1	新山絹子 朝比奈政子	4-6 ○	芥川順子 佐藤 恵
S	梨田典子	打切り	外山紀子	S	渡部麻美	○ 6-0	橋本裕美

第46回関東実業団対抗テニストーナメント(ビジネスパル・テニス関東大会)・記録
＜第2日＞

女子【決勝】

	3.ウインザー	○ 2-0	8.日本航空
D2	横浜利映 込谷友佳	○ 6-2	綿野麗子 金児洋子
D1	矢吹求美 能 可南子	○ 6-3	中野淳子 泉谷美樹
S	岩崎美和子	打切り	内藤 歩

女子【3位決定戦】

	4.東京海上日動	○ 2-0	7.茨城県庁
D2	今城麻奈美 外山紀子	○ 6-3	穂山孝子 高松みよ子
D1	細井麻代子 望月直美	○ 6-1	新山絹子 朝比奈政子
S	寺井巳恵	4-3 打切り	渡部麻美

女子【5位決定戦】

	5.日立大みか	1-2 ○	2.長谷川香料
D2	佐々木久美子 谷口英子	5-7 ○	内藤直子 荻野妙子
D1	根本由紀子 石崎淳子	4-6 ○	佐藤 恵 橋本裕美
S	梨田典子	○ WO	芥川順子

女子【7位決定戦】

	1.東芝本社	○ 2-0	6.本田技術研究所
D2	石坂由里 林 あゆみ	○ 6-4	林 里恵 坂上歌子
D1	伊藤由美 犬飼美成子	○ 6-0	神原真紀 小野崎友子
S	的場佳波	打切り	古郡麻由

第46回関東実業団対抗テニストーナメント(ビジネスパル・テニス関東大会)記録

最終順位表

【男子】

順位	所属	チーム名
優勝	埼玉	川口市役所
準優勝	千葉	JFEスチール・千葉
3位	東京	電通国際情報サービス
4位	埼玉	日機装
5位	千葉	新日本建設
6位	茨城	日立製作所・佐和
7位	東京	伊藤忠テクノソリューションズ
8位	栃木	ホンダエンジニアリング
9位	茨城	原科研
10位	神奈川	三菱電機
11位	栃木	富士重工
12位	群馬	三洋電機
13位	山梨	東京エレクトロン
14位	神奈川	山武
15位	山梨	南アルプス市役所
16位	群馬	ルネサステクノロジ

※太字は第46回全国実業団対抗テニス大会に出場。

注) 台風のため、全試合1セットマッチ(ノーアド)に短縮して実施。

【女子】

順位	所属	チーム名
優勝	神奈川	ウインザー
準優勝	千葉	日本航空
3位	東京	東京海上日動
4位	茨城	茨城県庁
5位	埼玉	長谷川香料
6位	茨城	日立大みか
7位	東京	東芝本社
8位	栃木	本田技術研究所

※太字は第46回全国実業団対抗テニス大会に出場。

第 46 回関東実業団対抗テニストーナメント結果報告書

2007 年 7 月 16 日

監督 上野勝久

1. 大会概要
- | | |
|----|----------------------------------|
| 日程 | 2007 年 7 月 14 (土) ~ 7 月 15 日 (日) |
| 会場 | 群馬県総合スポーツセンターテニスコート |
| 主催 | 関東テニス協会 |
| 主管 | 群馬県テニス協会 |
| 後援 | 群馬県 群馬県教育委員会 上毛新聞 |
| 協賛 | ブリヂストンスポーツ株式会社 |

2. 試合方法

- ・ 16 チームによるトーナメント戦。
- ・ 試合はトーナメント戦であるが、フィードインコンソレーションにより順位決定戦を行う。
- ・ 複 2 試合、及び単 1 試合による対抗戦。
- ・ 単複に重複出場できない。
- ・ 6 ゲームズプロセットマッチ、ノーアドバンテージスコアリング方式
(天候不順のため、全試合 1 セットマッチ (ノーアド) に短縮して実施)

3. 試合結果

トーナメント 1 回戦 対 山武 (神奈川県) 7 月 14 日 (土)

富士重工	- 1	山武
D 2 上野勝久	0 - 6	水上正
荒井貴雄		山口友哉
D 1 阿部能文	6 - 1	内田佳克
大久保優介		鈴木伸
S 金光寛明	7 - 6	加藤元啓

(11-9)

トーナメント 2 回戦 対 川口市役所 (埼玉県) 7 月 14 日 (土)

富士重工	0 -	川口市役所
D 2 阿部能文	4 - 6	堀江能徳
大久保優介		鈴木琢也
D 1 金光寛明	3 - 6	輿石龍児
大竹正則		浅井正之
S 八木橋智史	1 - 6	春原健一

フィードインコンソレーション2回戦 対 ホンダエンジニアリング(栃木県) 7月14日(土)

	富士重工	0 -	ホンダエンジニアリング
D 2	八木橋智史	2 - 6	木内義之
	大久保優介		中村健
D 1	阿部能文	0 - 6	吾郷真司
	大竹正則		後藤勝敏
S	金光寛明	3 - 0	肥後正弓

打ち切り

フィードインコンソレーション 9~12 決定戦 対 三菱電機(神奈川県) 7月14日(土)

	富士重工	1 -	三菱電機
D 2	阿部能文	6 - 3	水上雄介
	大久保優介		市原利浩
D 1	上野勝久	3 - 6	吉田栄稔
	荒井貴雄		吉橋陽
S	金光寛明	1 - 6	松本良史

フィードインコンソレーション 11 決定戦 対 三洋電機(群馬県) 7月15日(日)

	富士重工	- 1	三洋電機
D 2	上野勝久	3 - 6	茂木弘
	荒井貴雄		間々田隆男
D 1	阿部能文	6 - 3	清村啓一
	大久保優介		宮嶋健一
S	金光寛明	6 - 2	市川紀博

4. 所感

トーナメント1回戦 対 山武(神奈川県)

初戦は、ダブルス2本中1本を取り、エース金光へ勝敗を託す思惑通りの展開となりました。

D2は、勝負所で自力の差が出てしまいゲームポイントが取得できず惨敗、D1は緊張、悪天候を感じさず終始安定したプレーで勝利。Sは、序盤は緊張の為かサービスブレイクで始まり、中盤以降はサービスキープによるタイブレーク。金光は、相手の鋭いアプローチからのボレーに苦しみましたが、要所でパッシングショットが決り大接戦で勝利し、念願のチーム初勝利を収める事ができました。

トーナメント2回戦 対 川口市役所(埼玉県)

強豪との対戦ということで、打ち切り阻止狙いでシングルス金光をダブルスに起用しました。しかし、常に相手が優位にたち苦しい展開となりました。

D2、D1は、なんとかゲームを取得するも、相手を追い詰めるまでには至らず敗戦。Sは、テニスをさせてもらえず敗戦。結果的に優勝チームと戦えた事はよい経験でした。

フィードインコンソレーション2回戦 対 ホンダエンジニアリング(栃木県)

栃木代表対決となり、うちの勝ちパターンであるダブルス2本中1本を取り、シングルス勝負で望みましたが思惑通りの展開とはなりませんでした。

D2、D1ともに、気持ちが萎縮しポイントほしさのプレーが目立ち、本来のプレーが出せないままの打ち切り敗戦となりました。手の内を知る相手だった事もあり、奇襲的なオーダーを取りましたが裏目に出てしまい、全くの監督采配ミスによる敗戦でした。

フィードインコンソレーション 9~12 決定戦 対 三菱電機(神奈川県)

雨足も強くなり、寒さもあり選手のコンディションが悪い中での厳しい戦いとなりました。

D2は、序盤で3ゲームを先取でき、以降は確実にサービスゲームをキープ、雨足が強くと通常のプレーが出来ない中、相手を翻弄し堅実なプレーで勝利。

D1は、序盤で2ゲームを先取したが3-3と追いつかれ、ネットに詰めた所をうまくロブで陣形を崩されて敗戦。Sは、より雨足が強くなり、金光の強打が拾われてしまう厳しい展開となりました。戦術を変えて試合を作りましたが要所で強打が決らず敗戦。

フィードインコンソレーション 11 決定戦 対 三洋電機(群馬県)

大会2日目、台風の影響による雨風が強い状況での最終戦でした。

D2は、序盤3-0とリードするもゲームポイントが奪えず、焦りからミスが出て6ゲーム連取され敗戦。D1は、前日からの堅実なプレーを持続でき、序盤で3-0とリードすると安定したサーブ、ストロークからチャンスを作り確実にポイントを取得し勝利。Sは、前日の最終戦と同じような打つても拾われる嫌な展開でしたが、粘り負けせずポイントを取得し4-0と先行。以降はリードを守り勝利。

まとめ

台風4号の接近と梅雨前線の停滞で雨天による大会開催となりました。2日目は、台風の影響で雨風が強まり、初出場のわれわれには厳しい条件となりました。

関東大会で初戦を突破できた事は、日頃の練習の成果であると実感しています。しかし、2回戦で対戦した優勝チーム川口市役所に完敗した事によりチームが崩れ、気持ちを切替えられず以降の勝ち進めるチャンスを潰してしまった事が残念です。今回の大会で学んだ多くの事を自分達の糧とし、また出場できるよう日々練習を重ね、機会を得る事ができれば活かしていきたいと思います。群馬県総合スポーツセンターテニスコートの水はけの素晴らしさには感激しました。

最後に、権守委員長をはじめ、実業団委員会の皆様にはお世話になり、本当にありがとうございました。

以上



第46回関東実業団対抗テニストーナメント 結果報告書

2007.7.19
ホンダエンジニアリング
監督：吾郷真司

1. 大会概要
- ・ 日程 2007年7月14日(土)～15日(日)
 - ・ 会場 群馬県総合スポーツセンターテニスコート
 - ・ 主催 関東テニス協会
 - ・ 主管 群馬県テニス協会
 - ・ 後援 朝日新聞社・群馬県・群馬県教育委員会・上毛新聞社
 - ・ 協賛 プリチストンスポーツ株式会社
2. 試合方法
- ・ 男子16チームによるトーナメント戦。
 - ・ 試合はトーナメント戦であるが、コンソレーションにより順位決定戦を行う。
 - ・ 複2試合、及び単1試合による対抗戦
 - ・ 単複に重複出場は出来ない。
 - ・ 6ゲームズプロセットマッチ、ノーアドバンテージスコアリング方式(悪天候のため8ゲームズプロセットマッチからの変更)
3. 出場選手
1. 吾郷 真司
 2. 木内 義之
 3. 肥後 正弓
 4. 山本 竜彦
 5. 後藤 勝敏
 6. 中村 健
 7. 岡田 誠司
 8. 中野 英治
 9. 中野 淳一
4. 試合結果
- トーナメント1回戦 対 三洋電機(群馬2位)：7月15日(土)

ホンダエンジニアリング	1 -	三洋電機
D 2 木内 義之	6 - 7	茂木 弘
肥後 正弓	(4)	間々田隆男
D 1 吾郷 真司	6 - 0	清村 啓一
後藤 勝敏		宮嶋 健一
S 山本 竜彦	5 - 7	市川 紀博

フィードインコンソレーション1回戦 対 東京エレクトロン(山梨2位)
: 7月15日(土)

ホンダエンジニアリング - 1 東京エレクトロン

D 2	木内 義之 肥後 正弓	2 - 6	大倉 成幸 山田 賢二
D 1	吾郷 真司 後藤 勝敏	6 - 2	戸木 教夫 藤原 千秋
S	山本 竜彦	7 - 6 (4)	小田 尚史

フィードインコンソレーション2回戦 対 富士重工(栃木2位) : 7月15日(土)

ホンダエンジニアリング - 0 富士重工

D 2	木内 義之 中村 健	6 - 2	八木橋智史 大久保優介
D 1	吾郷 真司 後藤 勝敏	6 - 0	阿部 能文 大竹 正則
S	肥後 正弓	0 - 3 打ち切り	金光 寛明

フィードインコンソレーション3回戦 対 日立製作所・佐和(茨城1位)
: 7月16日(日)

ホンダエンジニアリング 0 - 日立製作所・佐和

D 2	木内 義之 中村 健	0 - 6	原田 健一 穉山 秀延
D 1	吾郷 真司 後藤 勝敏	5 - 3 打ち切り	中野 祐二 大杉 幹雄
S	肥後 正弓	3 - 6	戸祭 康弘

7位決定戦 対 伊藤忠テクノソリューションズ(東京2位) : 7月16日(日)

ホンダエンジニアリング 0 - 伊藤忠テクノソリューションズ

D 2	山本 竜彦 中野 英治	4 - 6	小田 博晶 瀬戸口啓介
-----	----------------	-------	----------------

D 1	岡田 誠司 中野 淳一	3 - 6	岩本 誠 船本 俊隆
S	後藤 勝敏	0 - 2	佐々木洋二 打ち切り

5. 所感

トーナメント1回戦 対 三洋電機（群馬2位）

初戦の相手は過去優勝経験もある強豪でした。

我々は栃木予選とまったく同様のオーダーで臨み、普段通りのプレーを心掛けました。ダブルス2の木内・肥後選手は、初出場とは思えないはつらつとしたプレーで一気に3ゲームを連取し、このまま押しきると思われましたが、相手の巧みなロブに苦戦し、一気に4 - 5と逆転されました。相手にマッチポイントを握られながらもなんとか粘りタイブレークに持ち込みましたがあと一步及ばず初戦を落としました。ダブルス1は序盤からリズムに乗って相手につけ入る隙を与えず6 - 0で勝ち、タイに持ち込みました。最後のシングルは山本選手対市川選手。お互いストロークを中心とした展開で激しい打ち合いになりました。5 - 5で迎えた山本選手のサーブでダブルフォルトをきっかけにブレークされ5 - 7で敗れました。この結果コンソレーションにまわることになりました。

フィードインコンソレーション1回戦 対 東京エレクトロン（山梨2位）

東京エレクトロンは常連のチームで、過去準優勝の経験もある強豪でした。全国大会に向けて負けられない一戦になりました。1回戦で負けたとはいえ、リズムは悪くなかったため、1回戦と同様のオーダーで臨みました。

D2は落とし、D1は取るという1回戦と同じ形になりました。最後のシングルは山本選手のストロークを相手の小田選手がつなぐという展開になりました。序盤は競り合いましたが、終盤に山本選手のミスが目立ちはじめ3 - 5と後がなくなり、さらにマッチポイントも奪われ絶対絶命の状況に追い込まれました。マッチポイントで相手が絶妙のロブを上げ、これでゲームセットかと思われましたが、山本選手が必死に返したボールを相手が痛恨のボレーミス。これをきっかけに流れが変わりタイブレークを制し、見事初勝利をあげました。

フィードインコンソレーション2回戦 対 富士重工（栃木2位）

同じ初出場、栃木代表ということもあり非常にやりにくいチームでした。シングルの山本選手が前の試合で負傷したこともあり、栃木予選を通じて初めてオーダーを変更しました。今大会初出場の中村選手の活躍もありD2を幸先よく先取しました。D1も勢いに乗ってゲームを連取し、ダブルス2本を取り、勝利することが出来ました。ダブルス2本を取るという我々の普段の形で勝利することが出来、次の試合に向けて最高の形ができました。

フィードインコンソレーション3回戦 対 日立製作所・佐和（茨城1位）

いよいよ、全国を賭けた最終戦は、関東大会常連の日立製作所・佐和。6ゲームマッチとはいえ本日4試合目となりました。3回戦の勢いをそのまま持ち込むためにオーダーを変更せずに臨みました。ただ、相手のレベルも高くD2を0 - 6で落としてしまいました。D1は後藤選手の好リターンが連発し、リードして終盤を迎えましたが、同時に始まったシングルの肥後選手が善戦したものの相手のビッグサーブの前に力尽き、残念ながら全国の道は閉ざされました。

7位決定戦 対 伊藤忠テクノソリューションズ（東京2位）

今大会最終戦。前日のオーダーから大幅に変更し臨みました。D2は山本・中野（英）。中野（英）選手は今大会初出場ということもあり、序盤は硬さが目立ち、2 - 5と

リードされました。ただ徐々に硬さもとれ、4 - 5 と粘りをみせましたが、4 - 6 で落としました。D 1 岡田・中野（淳）選手も今大会初出場。序盤は伸び伸びとしたプレーでリードしましたが、相手も粘りを発揮し、3 - 6 で敗れました。この結果 8 位で全日程を終了しました。

6 . まとめ

大会前の予報で台風 4 号の通過が予想され、大会開催を危惧していました。当日は小雨の中、6 ゲームに短縮し何とか試合を行うことが出来ました。雨の中の試合はあまり経験がなく、特にボールやシューズのすべり具合やサーブへの影響を懸念していました。只条件はどのチームも同じなので、特に意識せず普段通りのプレーを心掛けました。我々は今大会初出場だったため、大会の雰囲気や他チームのレベルなどがまったく分かりませんでした。そこで前日練習を有効に活用し、他チームの特徴やレベルなどを把握しました。

また今大会を通じて応援の重要さをあらためて実感しました。

会社のチームメイトが栃木からも応援に来てくれ、選手がリードされていたり、追い上げられていた時などは特に大きな声援を送ってくれ、大きな力になりました。また、富士重工や本田技術研究所の女子チームの皆さんも我々の応援をしてくれました。栃木予選ではメンバーはほぼ固定でしたが、今大会は 9 名のメンバーを登録し、試合に出場できない選手は裏方として選手をサポートしてくれました。幸いにも全員が試合を経験することが出来、各々課題を見つけることが出来ました。

栃木代表として全国大会に出場するという目標はかないませんでした。来年もこの大会に参加し、全国大会へ出場できるように精進していきたいと思えます。最後に、権守委員長をはじめ、実業団委員会の皆様にはいろいろとご支援、ご指導いただき、本当にありがとうございました。

以上



ホンダエンジニアリングチームメンバー



強打する山本選手（対伊藤忠テクノソリューションズ）



声援を送る選手達

第46回関東実業団対抗テニストーナメント 結果報告書

2007.7.20
(株) 本田技術研究 栃木
監督：江連 宜伸
選手代表：林、神原

1. 大会概要
 - ・ 日程 2007年7月14日(土)～15日(日)
 - ・ 会場 群馬県総合スポーツセンターテニスコート
 - ・ 主催 関東テニス協会
 - ・ 主管 群馬県テニス協会
 - ・ 後援 朝日新聞社・群馬県・群馬県教育委員会・上毛新聞社
 - ・ 協賛 プリヂストンスポーツ株式会社
2. 試合方法
 - ・ 女子8チームによるトーナメント戦。
 - ・ 試合はトーナメント戦であるが、コンソレーションにより順位決定戦を行う。
 - ・ 複2試合、及び単1試合による対抗戦
 - ・ 単複に重複出場は出来ない。
 - ・ 6ゲームズプロセットマッチ、ノーアドバンテージスコアリング方式
3. 出場選手
 1. 小野崎友子
 2. 神原 真紀
 3. 坂上 歌子
 4. 静 洋子
 5. 林 里恵
 6. 古郡 麻由
 7. 岩崎 澄美
4. 試合結果

トーナメント1回戦 対 日立大みか(茨城県代表)：7月14日(土)

本田技術研究所 栃木 1 - 日立大みか

D 2 林 里恵 1 - 谷口 英子
小野崎 友子 梨田 典子

D 1 坂上 歌子 1 - 根本 由紀子
古郡 麻由 佐々木 久美子

S 神原 真紀 - 2 石崎 淳子

フィードインコンソレーション1回戦 対 茨城県庁(茨城県代表)：7月14日(土)

本田技術研究所 栃木 0 - 茨城県庁

D 2 林 里恵 0 - 穠山 孝子
静 洋子 高松 みよ子

D 1	神原 真紀 小野崎 友子	0 -	新山 絹子 朝比奈 政子
S	坂上 歌子	打ち切り	渡部 麻美

フィードインコンソレーション7位決定戦 対 東芝本社(東京代表): 7月14日(土)

	本田技術研究所 栃木	0 -	東芝本社
D 2	林 里恵 坂上 歌子	4 -	石坂 由里 林 あゆみ
D 1	神原 真紀 小野崎 友子	0 -	伊藤 由美 犬飼 美成子
S	古郡 麻由	打ち切り	的場 佳波

5. 所感

トーナメント1回戦 対 日立大みか(茨城県代表)

台風が近づいていることもあって、初日から大雨と残念ながら天候には恵まれませんでした。コートの水はけ状態が良く、8ゲームから6ゲームとゲーム数を変更し、試合は定通り開催されました。

初戦で慣れない天候ということもあり、チームメンバーは、みな緊張気味でした。小野崎・林ペアのダブルス2は、最初は、相手のミスもあり、こちらのリズムに乗ってプレーをすることができましたが、徐々にホンダ側のミスが目立ちはじめ、相手側に試合の波を奪われた形で、1 - 6という結果で負けてしまいました。次の坂上・古郡ペアは、古郡選手初の公式戦ということもあり、自分達が今できる最大限の力を出し切るということで、試合に望みました。古郡選手も試合が進むに連れ、試合の雰囲気や溶け込み、のびのびとプレーをしているように思えました。坂上選手も古郡選手のフォローをし、念願の1ゲームを取ることができましたが、ダブルフォルトやストロークミスなどが目立ち、負けてしまいました。

最後に、神原選手のシングルは、序盤、互いに切れのよいストロークの打ち合いで、両者どちらも譲らない試合展開でしたが、中盤から、相手のペースが乱れ、ミスが多くなり、6 - 2で勝利をつかむことができました。

フィードインコンソレーション1回戦 対 茨城県庁(茨城県代表)

茨城県庁はビジネスパルの常連で、ベテランさんが多く、ミスも少なく確実にプレーを決めてくるチームでした。ダブルス2の静・林選手は、古郡選手と同様に静選手の初公式戦でしたが、相手につけこむスキもなく、攻められる一方で0-6で負けてしまいました。次の神原・小野崎ペアのダブルス1は、相手ペアが序盤から緊張しているのを感じられたり、何ゲームもノードまで競ることができたにも関わらず、ここというポイントでの決定力/気力不足により0-6で敗戦しました。

フィードインコンソレーション7位決定戦 対 東芝本社(東京代表)

最後の東芝は、全体的に若いチーム構成で、ミスも少々ありますが攻撃&守りが両立したチームでした。ダブルス2は、序盤こちらのミスが多く、相手にリード奪われてしまいましたが、中盤、坂上選手の攻撃がきまりだし、4 - 5まで追いつきましたが、最後の粘りと集中力が足りず、4-6で負けてしまいました。次のダブルス1は、ペアがストローク同士で常にしっかりしたボールを打ってくる為、ストロークで繋がれた結果、浮いたボールをボレーで叩かれるというパターンに終始はまってしまい、0-6で敗戦しました。

6. まとめ

本大会において、新しいメンバー古郡選手、静選手を加え試合に臨みました。台風の中、1日中傘の離せない天候での試合でしたが選手一丸となってベストを尽くしてくれたと考えております。試合を振り返り感じた点としては、やはりストロークがどこのチームも安定していると感じました。先にミスをしないことが出来れば十分戦えると感じました。ダブルスでは、すばらしいボレーやストロークやロブが決まるのですが、連続してPOINTを取る事が出来なかった。もう少しペアでのPOINTパターンを練習すれば効率よくPOINTが取れる様に思います。後は、練習を積んで自信をつければ緊張せずいつものプレーが出来るのではなかと感じます。

スマッシュやボレーでPOINTを決めるプレーが、今後の課題と感じました。

最後に、権守委員長をはじめ、実業団委員会の皆様にはいろいろとご支援いただき、本当にありがとうございました。

以上

